

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2019年2月)

主な出来事

【内政】

- 21日、ダシグリ地方分権・地方行政大臣とブラ・リトラル県知事は、国有地の分割譲渡に関して規則に則らない売却を行ったとして更迭された。(21日, Le Matinal 紙)

【外政】

- 22日、タロン大統領はガーナのアクラを訪問し、西アフリカの安全保障に関する会議に出席した。トーゴ、ブルキナファソ及びガーナの各元首が参加した。(25日, L' économiste 紙)

【経済】

- 6日、アフリカ開発銀行は、アフリカ経済展望2019を公表し、ベナンの2019年産業成長率は13.3%との見通しを立てた。(7日, La Nation 紙)
- 12日、ドイツの国際輸送物流会社であるDHLは、貿易・資本・情報及び人材の国際的流通の指標となるグローバル接続性指数,Global Connectedness Index(GCI)を発表した。ベナンは169か国中155位で、2017年の147位からランクを下げた。(20日, L' économiste 紙)
- 2017年のカシューナッツ輸出金額は昨年比108.7%の483億フラン CFA であった。カシューナッツ産業は綿花、コトヌ港湾サービスに次ぐベナンの主要産業であり、国内総生産の3%、農業分野の国民総生産の7%、輸出売り上げの8%を占めている。(28日, L' économiste 紙)

※下記内容は、La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, L' économiste 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 22日～26日にかけて、CENA(国家独立選挙委員会)は、4月に実施される候補者名簿の提出を受け入れる。(6日, L' économiste 紙)
- ・ 21日、ダシグリ地方分権・地方行政大臣とブラ・リトラル県知事は、国有地の分割譲渡に関して規則に則らない売却を行ったとして更迭された。(21日, Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 1月29日、ニアメにおいてソグロ元大統領は、イスフ(M. Issoufou Mahamadou)ニジェール共和国大統領と会談し、アフリカ域内共通通貨について等様々な件について意見交換をした。(1月30日, L' économiste 紙)

- ・ 7日、アベノンシ外務・協力大臣は、アディスアベバで開催された第32回 AU 総会に出席した。(8日, La Nation 紙)
- ・ 21-22日、ワダニ経済・財務大臣はオスロを訪問し、ウルスタイン(M. Dan-Inge Ulstein)国際開発大臣と持続可能な開発目標(SDGs)に関する協力関係について、及び19年3月にベナンに調査団を派遣予定のノルウェー開発協力局(Norad)を通じた二国間協力について協議した。さらにワダニ大臣はバクリアン(M. Brage-Baklien)財務大臣付副大臣と意見交換し、ノルウェー政府年金基金を通じたベナンへの支援の可能性について意見交換を行った。(22日, Le Matinal 紙)
- ・ 22日、タロン大統領はガーナのアクラを訪問し、西アフリカの安全保障に関する会議に出席した。トーゴ、ブルキナファソ及びガーナの大統領が参加した。(25日, L' économiste 紙)
- ・ 25, 26日、アベノンシ外務・協力大臣は、ニアメで開催されたサヘル地域における気候委員会の第一回首脳会合に出席した。(27日, L' Evénement Précis 紙)

【治安】

- ・ 2日、サヴェエ市オクンフォ(Okounfo)・ゴゴロ(Gogoro)地区において交通事故があり、ベニト(M. Patrice Gbegnito)カトリック教会神父を含む5名が死亡した。(5日, Le Matinal 紙)
- ・ 5日、ケトゥ(Kétou)市において、プル族衣装の男2人が、3名が乗車していたバイクを停止させ、密造銃を発砲し運転していた男性を殺害した。被害者はプル族と地域住民間の牛の売買に携わっていたようである。(8日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 6日、カンディ(Kandi)市で自動車同士の衝突事故があり6名が死亡した。(7日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 7日、ケトゥ(Kétou)市の公立オバダ小学校校長が同行女性生徒に淫らな行為をした疑いでポベ第二審裁判所に訴追された。今後同校長は収監されることになる。この他、同事案に関わったと思われる教育実習生は事件発覚後逃走した。(11日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 13日、コメ(Come)市において、ヒョウ皮1枚とワニ皮3枚の密輸の疑いで2名を逮捕した。(14日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 13日、ニジェール国境沿いの街カリママ市において、ニジェール川を渡りニジェールのウナ(Ouna)市場へ乗客及び商品を運搬していたモーターボートが転覆し45名が死亡、40名が行方不明となった。同船の定員は約100人で過積載が原因と見られている。(14日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 15日、サバルー(Savalou)市ロゴゾエ(Logozohe)地区で軍用自動小銃 AKM を2丁所持した疑いで2名が逮捕された。(18日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 17日午前3時、ゴドメ地区の通称「Tolegba」と呼ばれるブードゥー教の家屋で儀式中に火災が発生し同建物が消失した。(18日, Le Matin Libre 紙)

- ・ 19日、カンディ(Kandi)から50km 程のアルファ・クアラ(Alfa-Kouara)地区でナイジェリア方面から来たガソリンタンク1, 300缶以上を掲載したトラックが横転し、火災が発生し1名の重症者を含む計5名が負傷した。(20日, Le Matinal 紙)
- ・ 23日、チャウル市(Tchaourou)ガバカ(Gabaka)の国道2号線において、パラク市からコトヌ市に向かっていた Confort Lines 社のバスが前方の車を追い越そうとした際、大きな穴にハンドルを取られ横転した。これにより運転手含む9名が死亡し乗客約40名が負傷した。(25日, La Nation 紙)
- ・ 25日、プラトー県サケテ(Sakété)市イタ・ジエブ(Ita-Djebou)地区においてバイク同士の事故が発生し警察官1名を含む3名が死亡した。(28日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 26日、アプラウエ(Aplahoué)市デポ(Dekpo)地区の18歳の仕立屋見習いの女性が腹痛を訴え、父親が伝統的な薬を服役させたところ、翌朝まで回復せず保健センターに搬送された後に死亡した。別の情報源によると、この女性が父親から同地区の男性との結婚に反対された直後中毒症状に陥った由である。(26日, Le Matin Libre 紙)

【経済】

- ・ 6日、アフリカ開発銀行は、アフリカ経済展望2019を公表し、ベナンの2019年産業成長率は13. 3%との見通しを立てた。(7日, La Nation 紙)
- ・ 8日、トナト生活環境・持続的発展大臣は、大ノコエ湖廃棄物管理計画の一環で、仏企業である Coved 社と協定を結んだ。570億フラン CFA の支援がなされ、コトヌ市、アボメカラビ市、ウイダ市、セメポジ市及びポルトノボ市が対象都市である。(11日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 8日、ゾマホン前在京大使が代表を務める IFE 財団は、学校給食計画の一環でケトウ(Kétou)市の小学校にモリンガパウダー100kgを供与した。サリマヌ幼少・初等教育大臣及びクリバリ国連代表らが参加した。(11日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 8日、ローマにおいて、ワダニ経済・財務大臣及びウングボ国際農業開発基金(IFAD)総裁は、農業発展及び市場アクセス支援計画(Padaam)に関する署名を行った。同計画は、ベナン南部7県を該当エリア、農業生産の向上及び零細農家の競争力向上による雇用創出及び所得改善等を目標としており、総額1. 044億米ドルである。(11日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 12日、ドイツの国際輸送物流会社であるDHLは、貿易・資本・情報及び人材の国際的流通の指標となるグローバル接続性指数,Global Connectedness Index(GCI)を発表した。ベナンは169か国中155位で、2017年の147位からランクを下げた。(20日, L' économiste 紙)
- ・ 15日、ベルギーから保健省に救急車10台(総額約2. 75億フラン CFA)が供与された。「政府行動計画(PAG)」で救急車35台の配備が掲げられている。(18日, La Nation 紙)
- ・ 27日、閣議において、ベナンの200町村に地上デジタルを導入する計画が承認された。これにより該当町村で21チャンネルを5年間無料で視聴可能となる。(28日, Le Matinal 紙)
- ・ 28日、コトヌ国際空港に冷蔵室が設置された。これにより欧州向けベナン産パイナップルの品質が改善されることになる。政府はこれまでベナン産パイナップルの最大消費国であるナイ

ジェリアと欧州への輸出を拡大するため年間生産量30万トンを増加し、綿花、カシューナッツに次ぐ第3の輸出品目とすべく取り組みをしている。(28日, La Nation 紙)

- 28日, 投資・輸出促進局及びベナン商工会議所は, ベナン及びフィンランドの企業間での B to B ビジネスフォーラムを開催した。(3月1日, La Nation 紙)
- 2017年のカシューナッツ輸出金額は昨年比108.7%の483億フラン CFA であった。カシューナッツ産業は綿花, コトヌ港湾サービスに次ぐベナンの主要産業であり, 国内総生産の3%, 農業分野の国民総生産の7%, 輸出売り上げの8%を占めている。(28日, L' économiste 紙)

【文化・その他】

- 6日, 中国の新年に際し, ガンビエ市で映画上映会が開催された。これからアボメカラビ, ダッサ等15都市で中国映画の無料上映会が予定されている。(8日, Le Matin Libre 紙)
- 23日, 中国文化センターは, 第10回中国春節祭行事として, 「旅人による筆展: 中国人芸術家から見たアフリカ」を開催した。中国人芸術家8名による絵画が展示される。(26日, Le Matinal 紙)